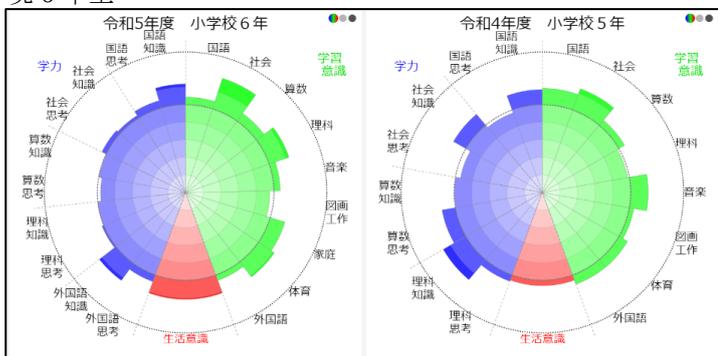


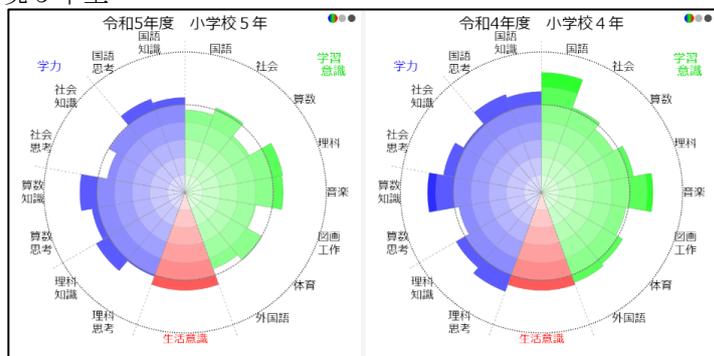
令和5年度 横浜市学習状況調査の結果の分析及び考察

昨年4月に行われた横浜市学習状況調査の全市の結果が報告されました。その結果を受けて、本校の分析と考察を報告させていただきます。

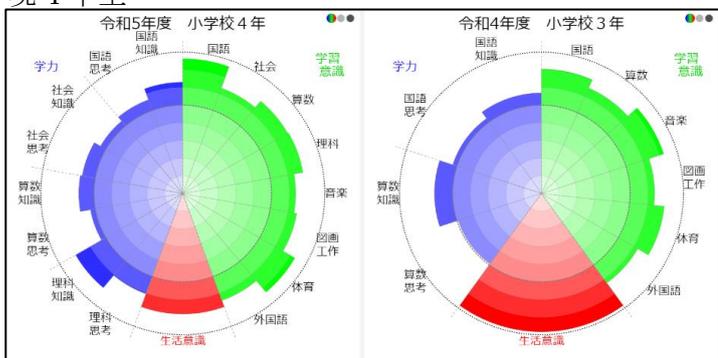
現6年生



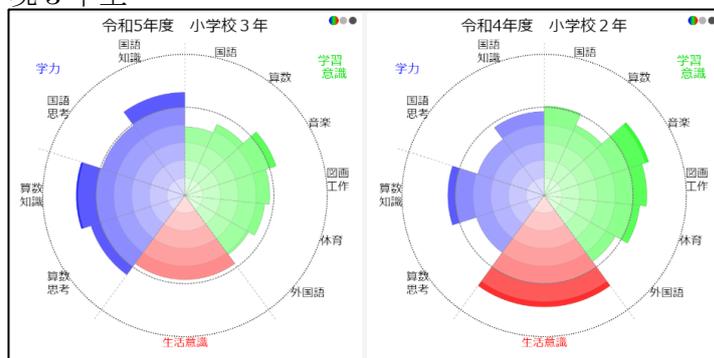
現5年生



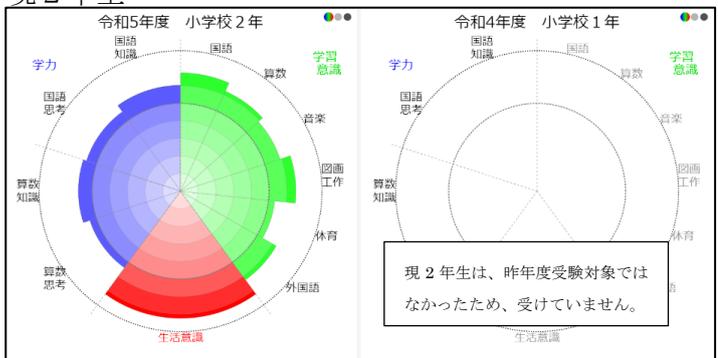
現4年生



現3年生



現2年生



● 本校の考察

<2年生>国語、算数ともに学力面は市の平均を上回っています。しかしながら文章の大体をとらえる力、重要な文を選んだり、数の変化や規則性をとらえたりするなど「思考判断」面に課題がみられます。自分から行動をおこし、より良い生活習慣をつくり上げようとする考え方や、生活意識は高いので、良い面を賞賛しながら、主体的な力をさらに高めていきます。

<3年生> 学力では、国語も算数も市の平均を上回っています。算数のかけ算を日常で活用する力があり、応用力を身に付けていることが分かりました。しかし、国語では、文章の大まかな内容を理解し、文の構成をとらえる力で課題が見られました。生活意識の、「人と関わることや人の気持ちを考えて行動しているか」を問う設問では、横浜市の平均より低い値でした。子どもたち同士が関わる中で、相手の気持ちを察する機会を増やしていきます。

<4年生>どの教科も市の平均より上回っていました。「学習にすすんで取り組んでいるか」という問いでは、取り組んでいると答えた児童が79%、どちらかといえば取り組んでいると答えた児童が21%と、学習意識が高いことも分かりました。自分の考えを相手にわかりやすく伝える力を身に付けられるよう、対話的に学習する場を増やしていきます。

<5年生>社会科以外の4教科は市の平均を上回りました。国語では、特に「情報活用」の結果が良く、日ごろの学習で情報を活用し個人でまとめたり共有したりする経験を多く行っている成果と言えます。社会では知識として習得すべき点ができているために全体的にやや下回っています。基礎・基本を大切に授業を進めていきます。算数では、との分野でも市の平均を上回っていました。引き続き、復習など個人で取り組めるよう学習の仕方を指導していきます。理科では、「エネルギー」分野で平均を下回りましたが、全体としては平均を上回りました。理科では、実験等を通して、実感しながら学べる環境づくりを心がけます。

<6年生>どの教科でも知識の問題で市の正答率よりも平均を上回っていました。学んだことを身に付けている子が多いことが分かります。今後は、身に付けた知識を生かして、さらに自分の考えを表現することができるように、対話的な学習形態を多く取り入れて指導していきます。